荷姿:16kg(石油缶)

*印刷の色相は近似色のため、実際の色とは異なります。 ホワイトは、N−95の近似です。

標準色:完全つや消しのみ(常備色ではございませんので、ご留意ください)

ホワイト	N-90	N-93
19-90A	22-90B	15-90A

標準塗装仕様

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	被塗面のごみ・ほこり・やにやしみを除き清浄な面とする。やにの著しい部分は、事前に、濡らしたウエスなどで拭き取り、十分に乾燥させる。					
上塗り	ニッペ シールマットII	1	0.15〜0.18	水道水	5〜15	エアレススプレー

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

塗料性能試験

試験項目	規 格	結 果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅いかたまりがなくて一様になること	合 格
塗装作業性	エアレス塗装時にチップ詰まりがなく、パターンむらがないこと	合 格
乾燥時間	2時間以内(23℃)4時間以内(5℃)であること	合 格
塗膜の外観	見本品に比べて色の差異が少なく、異物などがなく一様な色相になること	合 格
刺激性	エアレス塗装直後に刺激臭気がないこと	合 格
臭気	従来のエマルションペイントと比べて極めて少ないこと	合 格
環境性能	日本塗料工業会の室内建築用塗料の目標基準、厚生労働省の13物質と鉛を配合しない	合 格

施工上の注意(詳細な内容については、製品使用説明書などにてご確認ください。)

1.シールマットIIは「施工要領書」を必ずお読みください。
また実際の施工にあたっては「施工要領書」の内容にしたがって施工してください。
2.窓などの開口部近辺の天井は、斜光により仕上がり性の精度が非常に厳しく求められます。
入念な下地処理やシーラーでの吸い込み止めなどの処置を行なってから塗装してください。
3.規定の使用量を超えて過剰に塗装した場合は、ボタ落ちが発生したり、乾燥後にひび割れが生じたりするおそれがあります。
4.著しい油汚れ面では塗膜に割れが生じたり、付着しないおそれがあります。
5.天井用途以外には使用しないでください。また再塗替えの場合には本品をご使用ください。
一般の塗料を使用すると、はく離する場合がありますので、施工前に密着をご確認ください。
6.塗装後の乾燥塗膜はブラシ、水で塗らしたウエス、指などで強くこすると削れます。
またテープなどを貼ると塗膜表面からはく離しますのでご注意ください。
7.新しく張り替えた天井板は、色相や吸い込み差が異なるため、旧天井板と仕上がり差が生じます。
旧天井板とEP塗料などで色相を合わせたり、目立たない場所への差し替えなどの工夫をしてください。
8.繊維壁、耐火被覆用ケイカル板、ロックウールなどの非常に脆弱な素材には塗装できません。
9.防藻・防かび・効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
10.絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、
塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。
著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
11.乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
12.スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
13.低VOCのため、氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管をしてください。
14.塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
15.つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工してください。
16.旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
17.やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。
希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。
シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。
18.下地にタバコのヤニ汚れが著しい場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーIIを塗装してください。
19.塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
20.塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
21.塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
22.飛散防止のため必ず養生を行ってください。
23.塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが
起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
24.汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は
塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
25.使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。
やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
26.シールマットIIを施工した後には施主の許可を得て、缶のシールに記入のうえ、壁面などの目立たないところに貼ってください。
27.製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 シールマットII N-90

1.本来の用途以外に使用しないでください。
2.使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
3.粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
4.この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
5.取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
6.適切な保護手袋/防毒マスクまたは防じんマスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
7.必要に応じて個人用保護具を使用してください。
8.飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
9.眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
10.眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
11.取り扱った後、手を洗ってください。
12.防じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
13.暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
14.緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
15.容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
16.施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
17.直射日光や水濡れは厳禁です。
18.塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
19.日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
20.内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
21.塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
22.容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危 険	危険有害性情報
	強い眼刺激/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/発がんのおそれ/臓器の障害(単回暴露)/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害/水性生物に有害(急性)/長期的影響により水性生物に有害

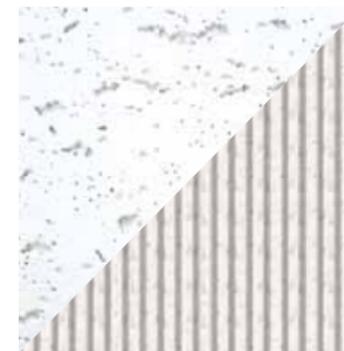
日本ペイント株式会社
お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/
●当社は2012年5月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しております。
●このカタログは、再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright2012 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.

カタログNo.
NP-Q027
NB120504T
2012年5月現在

吸音ボード・天井ボード専用
吸付け水性高機能環境配慮形塗料 略号:EP-AB(absorb board)

シールマットII

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

写真はイメージであり、商品とは無関係です。

とりもどせ！
きれいな空気と健全な室内環境。
“原状回復”＋環境対策！

塗るだけで
超高機能天井に早がわり！

1. 吸音ボードの吸音効果を落としません。
2. 室内の照度アップに寄与します。
3. ホルムアルデヒドをはじめとするアルデヒド類を吸着し、再飛散させません。
4. 防かび、抗菌でアレルゲン物質の増加を防ぎます。
5. 軽量な塗膜のため、天井材などの塗り替えに最適です。
6. 吹付けの為、凹凸が有る吸音ボードの塗り替えに最適です。
7. 超低臭で塗装時から臭気がほとんどありません。
8. F☆☆☆☆のホルムアルデヒド放散等級で制限無く使用できます。
9. 厚生労働省の規制13物質（アルデヒド類、トルエン、キシレンなど）を配合していません。
10. 鉛、クロムなどの有害な重金属を配合していません。
11. アスベストを含有していません。
12. 超低TVOC:0.1%以下です。
13. 珪藻土配合です。

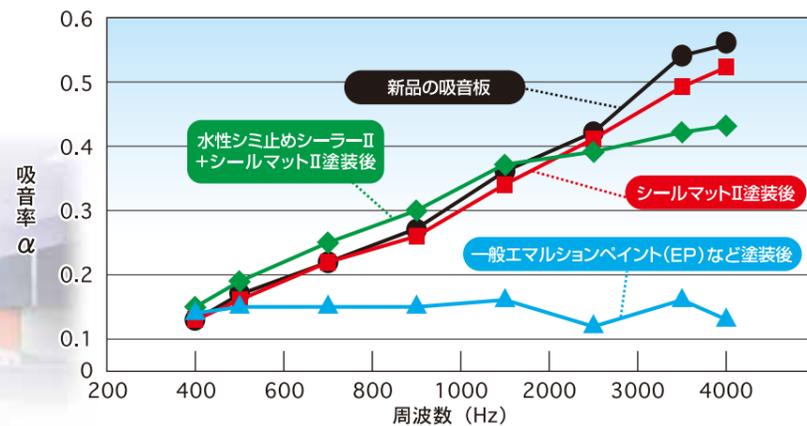
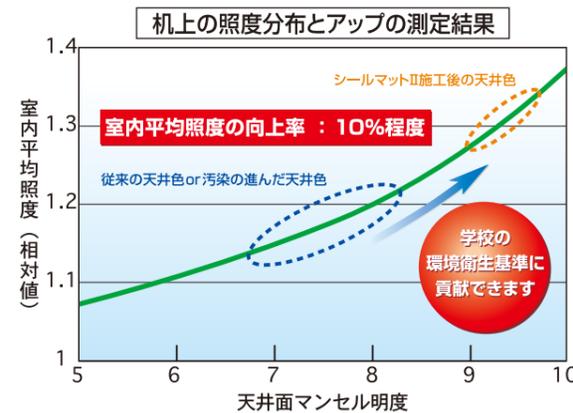
塗装後も吸音効果を維持

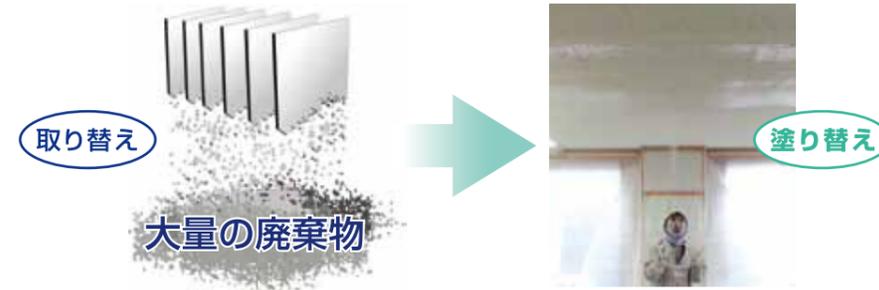
従来の塗装では吸音効果を低下させますが、シールマットⅡは吸音用の穴をつぶさないので吸音効果を損ないません。

室内の照度アップに寄与

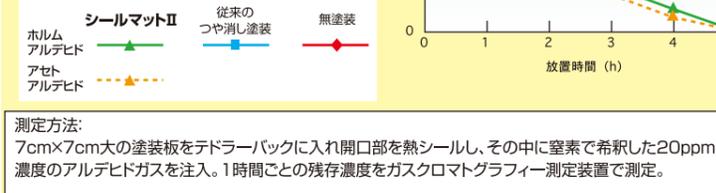
※写真はイメージです。

机上の照度分布とアップの測定結果

室内平均照度（相対値）: 1.4 / 1.3 / 1.2 / 1.1 / 1
シールマットⅡ施工後の天井色
室内平均照度の向上率 ：10%程度
従来の天井色or汚染の進んだ天井色
学校の環境衛生基準に貢献できます
天井面マンセル明度: 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10

コスト削減

“取り替え”よりも“塗り替え”がコストを確実に削減します！

シールマットⅡを使用した“塗り替え”はボードの取り替えと比較して、廃棄物処理費用などを大幅に削減することができます。

F★★★★（ホルムアルデヒド対策）以上の環境配慮

測定方法:
7cm×7cm大の塗装板をテドラーバックに入れ開口部を熱シールし、その中に窒素で希釈した20ppm濃度のアルデヒドガスを注入。1時間ごとの残存濃度をガスクロマトグラフィー測定装置で測定。

日本塗料工業会の健康リスクに関する目標基準（室内塗料）

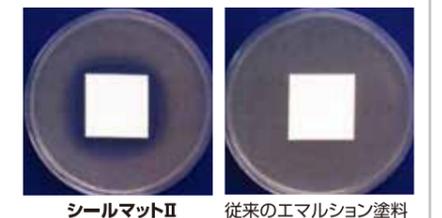
設計条件	目標値	シールマットⅡ
TVOC	1%以下	0.1%以下
芳香族系溶剤	0.1%以下	配合せず※
アルデヒド類	0.01%以下	配合せず※
重金属（鉛、クロムなど）	0.05%以下	配合せず※

※ただし不純物質として極微量検出される可能性があります。

厚生労働省が指針値を出している揮発性有機化合物を配合していません

対象化学物質	室内濃度指針値（値は25℃での換算）	シールマットⅡ※
ホルムアルデヒド	100μg/㎥(0.08ppm)	配合せず
トルエン	260μg/㎥(0.07ppm)	配合せず
キシレン	870μg/㎥(0.20ppm)	配合せず
パラジクロロベンゼン	240μg/㎥(0.04ppm)	配合せず
エチルベンゼン	3800μg/㎥(0.88ppm)	配合せず
スチレン(モノマー)	220μg/㎥(0.05ppm)	配合せず
フタル酸ジ-n-ブチル	220μg/㎥(0.02ppm)	配合せず
クロルピリホス	1μg/㎥(0.07ppb)成人 0.1μg/㎥(0.007ppb)子供	配合せず
テトラデカン	330μg/㎥(0.04ppm)	配合せず
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120μg/㎥(7.6ppb)	配合せず
ダイアジノン	0.29μg/㎥(0.02ppb)	配合せず
アセトアルデヒド	48μg/㎥(0.03ppm)	配合せず
フェノブカルブ	33μg/㎥(3.8ppb)	配合せず

ppm:100万分の1　ppb:10億分の1　μg=1/1,000,000g

抗菌機能

防かび機能

様々なかびが発生しにくい環境をつくります。